Q 保護者が時間に焦らず参観を出来る工夫をしてほしい

A 実施内容等を工夫するよう各園・学校を指導していく

今井（いまい） 慶一郎（けいいちろう）

映像はこちらから

Q 学校の先生方には最大限の敬意を表する。その上で、例えば、一人の保護者が二人の我が子の授業風景を、時間に焦ることなく観たり参加できるように工夫を凝らしてほしい。

A 参観日が重ならないよう調整したり、見どころとなる参観内容を学級通信等で保護者に伝えて授業公開に取り組んだり、また、参加が難しい保護者や感染症予防対策として授業をオンライン配信する等、各学校区や学年で色々試みている。教育委員会としては、これからも地域の行事等を考慮した上で、誰一人とり残さない授業参観を行なえるよう、校長会等を通じて指導していく。

●「煮ぼうとう」を世間に広めたい

Q 渋沢栄一の顕彰事業として「モノ」も世間に広めていきたい。例えば、渋沢栄一が子どもの頃から好んで食べていた「煮ぼうとう」を本市の食文化として末長く世間に継承していくことが、賢明な町おこしにも繋がると考えるが。

A 一昨年には武州煮ぼうとう研究会の推薦により、文化庁の「伝統の100年フード」にも認定された「煮ぼうとう」。今後は、関係各位と連携して推進し、市内外への広がりに繋がるよう努めていく。

文化庁：伝統の100年フードに認定の煮ぼうとう

Q 給食費の予算不足についての深谷市の施策は

A 安定的な給食提供のため補助金の増額を含め検討する

小泉（こいずみ） 誠（まこと）

映像はこちらから

Q 給食費の予算不足は早急の解決が必要だが、深谷市としてどんな施策を考えているか。

A 深谷市の学校給食の保護者負担の給食費の額は月額、小学校4，100円、中学校4，900円となっている。市は、保護者負担をできるだけ軽減できるよう、令和4年10月から、小学校400円・中学校500円の学校給食費の補助を実施している。献立や食材購入など工夫しているが、食材価格の値上げが今後も予想されるなか、安定的に給食を提供するための早急な対策が必要であると認識している。物価高による家庭への影響を勘案しながら、補助金の増額を含め検討する。

●予算編成過程を公開できないか

Q 市民の財政に関する関心と理解を深め、透明性の高い財政運営を行うために、予算編成方針の策定から最終的な予算案までの確定を時系列で議会前に公開することはできないか。

A 予算編成方針は、市長がその方向性を定める内部的な意味合いの強いものであるが、本年度より議案と併せて公表するよう、見直した。予算編成過程の公表は、一部の自治体での取組であり、近隣自治体においても、未だに行われていないことから、現時点では、予算編成過程を公表する考えはない。

写真提供：深谷市

Q 事業費24億3千万円を減らす努力をすべきでは

A 可能な限り一般競争入札を行い経費の節減に努める

村川（ミルク） 徳浩（おやじ）

映像はこちらから

Q ホフマン輪窯6号窯の耐震補強工事は、設計金額8億113万円で請負金額はその99・98％の8億102万円だった。業者選定は、随意契約ではなく、原則通り入札を行って決定すべきだったのではないか。

A 実績のある別業者が受注した場合、仮設覆屋などのリース物件の撤去・再設置が必要になり事業費の増額となる。複数の業者になると瑕疵担保責任の所在が不明確になる事も考慮し、競争入札に付することが不利と認められるので随意契約とした。

Q 関連工事を含む総事業費24億3千万円は、更に増額になるとのことだが、少しでも事業費を減らすための努力をすべきではないか。

A 分割できる工事については一般競争入札を行ってきた。今後も可能な限り入札を行い経費の節減に努める。

●自治会加入促進にネギーの活用を

Q 低下する自治会の加入率を上げるためには、自治会の負担を減らし、加入によるメリットを増やすという考え方も有る。ゴミの集積場の管理・清掃を市が行う考えはあるか。

A 市内に3，238ヶ所あるゴミ集積場を市が管理した場合、費用対効果の面で集約が必要となる。地元自治会等が管理運営する事により、地域の実情に応じた運用が可能となり、地域住民の利便性に繋がると考える。

Q 自治会の加入促進のために地域通貨ネギーを活用してはどうか。

A ネギーの活用を含め、自治会連合会と連携して研究していく。

ホフマン輪窯6号窯

Q 上唐沢川の桜が枯れているが対策をとっているのか

A 他の河川の桜も同じ状況なので監視体制を強化した

鈴木（すずき） 三男（みつお）

映像はこちらから

Q 上唐沢川沿いの桜並木がクビアカツヤカミキリの被害により枯れ始めている。市はその対策を考えているのか。

A 上唐沢川の桜には、クビアカツヤカミキリが原因の「フラス」が多数確認されている。他の河川の桜も同様であるので、造園業者による毎月の巡回を追加し監視体制を強めている。枯損木は例年発生しているが、老木による樹勢の衰退によるもので、クビアカツヤカミキリが直接的原因の枯損木は確認されていない。

Q すでに枯れている木が多くみられるが、撤去の予定はあるのか。

A 枯損木が確認され次第順次、剪定や伐採撤去をしている。

Q 撤去後に食害に強い桜の苗木を植える考えはあるのか。

A 桜は、地域のシンボルとして憩いの場や花見スポットとして親しまれているが、河川の管理上堤防への悪影響の懸念もあるので、新たな植樹の予定はない。

●北通り線の5差路に信号機を

Q 北通り線が開通してから、5年が経過し交通量が大幅に増加している。この北通り線を安全に横断して交差点北側の店舗で買い物ができるようにするために、信号機と横断歩道の設置を強く望んでいるがどうか。

A 信号機や横断歩道の設置は警察の所管であるため、改めて警察署へ要望してほしい。市としても、地元が強く希望していることを再度深谷警察署に伝えた。

6/20　枯損木の撤去